

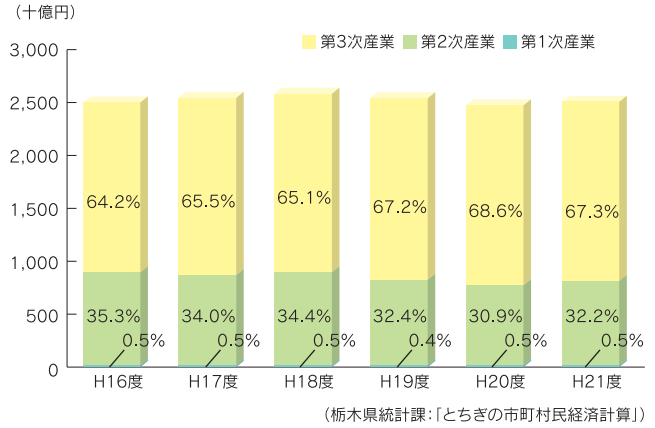
市内総生産

名目経済成長率 3年ぶりのプラス成長

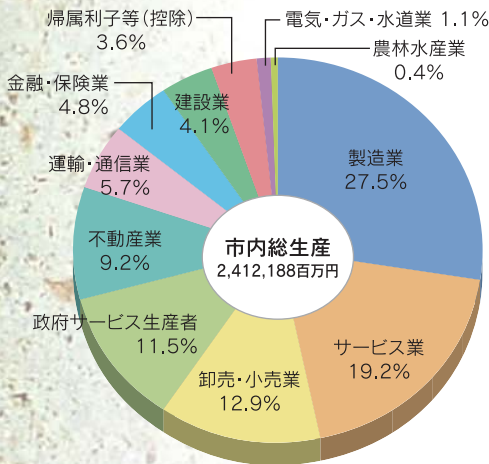
平成21年度における宇都宮市の市内総生産額は、2兆4,121億円です。

また、名目経済成長率は、1.3%でした。3年ぶりのプラス成長で、国や栃木県の成長率を大きく上回りました。

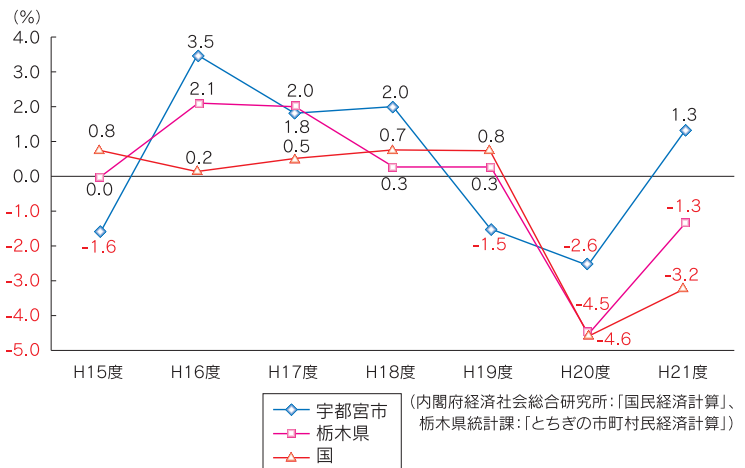
市内総生産の推移



市内総生産経済活動別割合(H21度)



名目経済成長率の推移



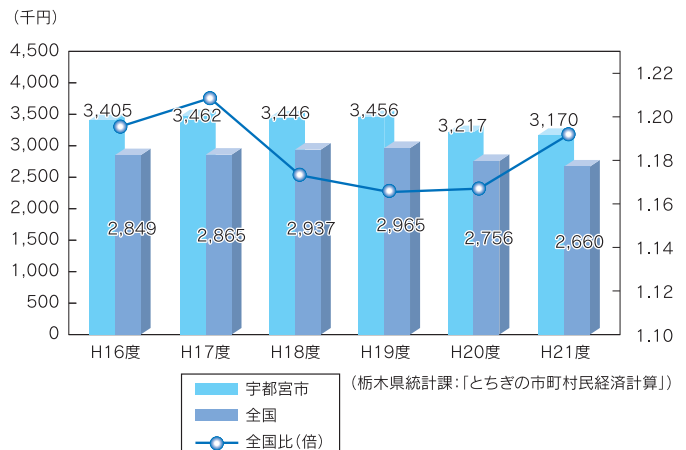
市民所得

市民所得の減少が続く

平成21年度の宇都宮市の市民1人あたりの市民所得は、約317万円となっており、平成16年度から約23万円の減少となりました。

全国と比べてみると、毎年1.18倍前後の水準となっています。

1人あたり市民所得の推移(H16~21度)





**みんなで参加して、みんなで楽しむ。
宇都宮市には歴史に生まれ、
市民に愛される祭りがいっぱいです。**



ふるさと宮まつり

宇都宮市制80周年を記念して、1976(昭和51)年に始められ、“であいとふれあい”をテーマに、宇都宮のメインストリート、大通りを中心に毎年8月第一土日の夜に繰り広げられる熱狂的なイベントです。



うつのみや花火大会

平成16年に休止されましたが、地域の若者が中心になり、平成19年に復活しました。

毎年、大勢のボランティアによって運営されています。迫力ある2尺玉3連発や、子どもたちの絵を実際に花火にして打ち上げる企画もあり、平成24年は約38万人もの人が夜空の彩りを楽しみました。



梵天祭り

羽黒山神社の梵天祭りは、江戸時代中頃に収穫を感謝する行事として始められたもので、約300年以上の歴史を持つ伝統ある祭りです。かつては、旧暦の10月7日に行われていましたが、現在は毎年11月23日、24日の2日間行われています。



宇都宮餃子祭り

平成11年から毎年11月の第一土日に開催されています。

宇都宮市民はもとより、県外からも多くの人たちが訪れ、餃子のまち宇都宮の恒例イベントとなっています。



冬渡祭・春渡祭(おたりや)

12月15日と1月15日の年2回行われる二荒山神社の神事で、12月は「冬渡祭」、1月は「春渡祭」と書き、どちらも「おたりや」と呼んでいます。12月には古いお札やダルマなどの縁起物を焼く行事が行われ、1月には正月の松飾りを焼く行事が行われています。

プロスポーツのまち宇都宮～子どもたちに夢を～

現在、宇都宮市をホームタウンとして活動しているプロスポーツチームは3チームあります。

サッカーの「栃木SC」、バスケットボールの「リンク栃木ブレックス」、そして、自転車ロードレースの「宇都宮ブリッツェン」です。

3チームは、試合などでのパフォーマンスを通して、観客やファンに夢や感動を与えるとともに、宇都宮市全体に様々な効果をもたらしています。

経済の活性化

試合の開催などにより、全国から選手・役員・関係者ほか、年間数万人の観客を呼び込むことができ、観客による飲食や買い物、宿泊などの消費を誘導するなどの「経済的效果」をもたらしています。

2011年シーズンの栃木SCは、ホームゲームの開催などによって市内に約10億8,200万円の経済効果(選手・スタッフの人件費とその波及効果を除く)をもたらしたと試算結果が出ています。

社会や子どもたちにもたらす効果

本市を拠点に活動するチームの活躍により、市民の一体感を醸成するなどの「社会的効果」や、「小中学校への訪問」や「交通安全教室」等の実施を通じ、スポーツの振興や青少年の健全育成などの「教育的効果」をもたらしています。



©TOCHIGI SC



©STUDIO NOUTIS

シティセールス

地元プロスポーツチームの活躍は、ホームタウンの注目度や知名度を高めるだけでなく、宇都宮のまちとしての特色や魅力を全国の人や企業に売り込むことに貢献しています。



©LINK SPORTS ENTERTAINMENT Inc.



©STUDIO NOUTIS

栃木SC(サッカー)

宇都宮市に本拠地を置いた最初のプロスポーツチームです。

1953年に栃木教員サッカークラブとして発足。1994年に「栃木サッカークラブ」と改称し、栃木県を代表するサッカーチームとして活動してきました。

2009年からJ2(Jリーグディヴィジョン2)に参戦、国内最高カテゴリーのJ1昇格を目指して戦っています。



©2009 TOCHIGI SC

リンク栃木ブレックス(バスケットボール)

2007年6月、「栃木ブレックス」として発足し、JBL2に参入、2008年4月に現在のチーム名称になり、同年10月からJBLに参入し、2010年4月にはJBL初優勝を果たしました。

現在も、日本代表レベルの選手を多数擁する人気チームとして知られており、2013-2014シーズンから、日本の新たなトップリーグNBLへ参入します。



宇都宮ブリッツェン(自転車ロードレース)

2009年1月に日本で初の地域密着型プロ自転車ロードレースチームとして発足しました。「宇都宮を日本一に」を掲げ全国を舞台に戦っています。自転車安全教室や、自転車を通じたまちづくり活動に取り組んでいます。

発足4年目の2012年は、自転車ロードレース国内最高峰ツアー「Jプロツアー」で年間総合優勝を決め、国内最強チームとなりました。



ジャパンカップサイクルロードレース

毎年10月に宇都宮市森林公園で開催されるアジア最高位の自転車レースです。

平成22年からクリテリウム(市街地周回レース)が行われています。

平成23年からは、中心市街地のオリオン市民広場内に設置された大型映像装置でパブリックビューイング(中継観戦)が実施されています。

開催にともなう、宇都宮市内への経済効果は、平成23年において、約20億円と試算されています。

